



学校だより

温 寧 の 丘

北海道小平高等養護学校

令和 5 年 12 月 1 日

第 3 号(通算108号)



現場実習を終えて

進路指導部 東 山 崇 磨

本校の柱の一つである「現場実習」が1学年は9月25日(月)～9月28日(木)の4日間、2学年は9月19日(火)～9月29日(金)の2週間、3学年は前提実習として9月11日(月)～10月6日(金)までの4週間で行われました。実習前に全学年が、校内の作業で一日働き続ける「終日作業」を行い、自分の身に付いた力を確認し自身を持って実習に向かいました。

1年生は初めての現場実習でしたが、学校の寄宿舎から地域の企業、福祉事業所に通い先生と共に汗を流しました。1年生の進路のキーワードは「知る」で、仕事や働く責任など実際の職場で働いて知る実習でした。

2年生は春と秋に2回の現場実習を行い、1回目は寄宿舎から小平町や留萌市の企業や事業所で4日間の実習を行い、2回目は本人・保護者、担任・進路指導部で面談を行い、本人が希望する地域で、自宅またはグループホームを利用して希望する企業や福祉事業所で2週間実習を行いました。2年生の進路のキーワードは「見つける」で、自分に合っている職種や作業種、自分の強みなどを見つける実習でした。

3年生は就職を前提とした実習で、生徒たち一人一人が将来の生活を見据えて、自分の希望する職種、自分の希望する地域で実習を行い、しっかりと取り組むことができました。3年生のキーワードは「決める」で、文字通り就労先を決める実習でした。

生徒たちは実習前の事前学習で実習の目標を立て、実習に向けての準備をしてきました。立てた目標と意気込みを「決意発表会」で発表し、実習へ向かう気持ちを全学年で高めました。また、実習先との面接も行い、緊張感をもって実習に臨みました。

現場実習から戻ってきた生徒たちの表情は自信にあふれ、挨拶の声や返事にも自信と成長が見られました。それぞれのキーワードに合った気づきや学びがあり、お金を稼ぐ大変さを実際に体験できたことは将来の進路を考える上で、貴重な経験になりました。

御協力いただいた企業の皆様、福祉事業所の皆様、保護者の皆様には心より感謝申し上げます。



第28回学校祭

結 束

～情熱のスパークング～

1 学 年

今年の学校祭、1学年の演目は「世界の祭をめぐる」でした。

1学期ALTが授業で紹介してくれた、世界の変った祭の中から更に調べて発表すること、さらに日本の派手な祭も調べて紹介することを中心に、グループごとに準備を進めました。

昨年までは映像のみの発表でしたが、今年は実演も交えることができるということで、それぞれのグループで観客を驚かせたり、笑ってもらったりしようと予測不能でインパクトのある演技ができたのではと思います。最後は北島三郎の「まつり」で締めました。生徒たちにとっては知らない歌だったようですが、地域からお借りした大漁旗にふんだんな紙吹雪で派手に演出できたものと思います。

来年もさらに生徒たちの持ち味を活かした表現がされることに期待しています。（佐々木 基 裕）

2 学 年

今年度の学校祭は、新型コロナウイルス感染症対策が緩和され、撮影した動画を放映するだけでなくステージ上での発表も行いました。

2年生は「全国合唱コンクール常連校でパートリーダーを務める主人公が自信満々に歌っている顔を“鮭（サケ）”と評され、葛藤しながら合唱と向き合っていく物語」である「うた魂 ♪」を題材として設定し、原作をアレンジした内容で発表しました。

“観てくれる方に伝わりやすいよう”話し合いで配役を決め、台本を基に”より良くなるよう”せりふや動きをアレンジし、動画撮影や編集を実施するなど、8人全員が主体的に取り組む様子が見られました。

学校祭当日は保護者や一般の方などを前に緊張した様子でしたが、ステージ上で堂々と演技や合唱を披露でき、練習の成果を発揮しつつ、日頃の学習の成果を発表することができました。

今回の経験を自信につなげ、今後の生活にも生かしていったほしいと思います。（高 橋 知 希）

3 学 年

生徒と学年発表担当の私が3年目にして初めて3週間日程という例年よりも短期間の中、動画撮影のほかステージ発表を取り入れた作品に挑みました。今回は演技のほか、生徒の得意な音楽表現を大いに生かせる構成としました。

「人間讃歌」をテーマに、主人公のマリアとトラップ家が音楽を通じて心を通わせていく様子を体育館ステージを中心に、屋外や視聴覚室などで撮影し、ミュージカルのように表現しました。人前で発表することが苦手な生徒も、ステージ発表に向けて練習を重ねることで少しずつ自信をつけていきました。また、映像編集の作業も担当教員・監督の下、生徒たちが取り組むなど、主体性やチームワークを育てることもできました。

本番は緊張の中、トーンチャイム演奏、手話ソング2曲の歌唱など、練習の成果を発揮することができたと思います。カーテンコール時には、生徒一人一人が声を出し盛り上がるなど、達成感や満足感が得られた様子が伺えました。

（北 野 実 里）

～販売会・縁日～

木 工 科

学科販売会の開催にあたり、たくさんの方々に御理解と御協力をいただき心から感謝いたします。

4年ぶりに地域の方々をお招きしての学校祭ということで、木工科一同、この日のために心を込めて製品製作に取り組み、826 点の製品を準備させていただきました。当日はありがたいことに 632 点の製品をお買い上げいただき大盛況で終えることができました。

一生懸命作業学習に取り組み、自分たちの手で制作した製品が売れていく様子を目の前で見られた生徒たちは、大変大きな喜びを感じることが出来ました。御来場お買い上げいただいた皆様、心より御礼申し上げます。

(小 堀 将 宏)



ク リ ー ニ ン グ 科

クリーニング科は、昨年度好評だった「縁日」に今年度も取り組みました。ひさしぶりに一般公開されるということもあり、クリーニング科一同気合いを入れて縁日の内容を考え、ダーツと輪投げに駄菓子販売を行うことにし、準備に励みました。生徒たちの柔軟なアイデアでポスターやCMも順調に出来上がり、会場設営も少人数でしたが、全員で協力し全力で完成させました。

学校祭当日、大勢のお客様の盛り上がりには生徒たちは緊張しながらも、お客様に楽しんでいただくことを目指して、積極的に接客していました。小さなお子様もたくさん来場していただき、お子様に対応した接客の成果も発揮することができました。クリーニング科で鍛え上げたサービスを提供する縁日をお客様にも楽しんでいただけたのではないかと思います。

ご来場いただいた皆様、本当にありがとうございました！ (板橋 智子)



窯 業 科

今年度は数年ぶりの通常開催となり、窯業科販売会にもたくさんのお客様が足を運んでくださいました。

みなさまのおかげをもちまして485点用意した製品はすべて完売することができました。前半だけでなく後半にも並んで購入してくださったお客様もいらっしゃり、生徒・職員とも感謝の念に堪えません。ありがとうございました。

ご使用いただいた感想などもいただければ、生徒にフィードバックさせ今後の学習活動に活かすことができますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

(北 川 浩 一)



